

ホームページ掲載用シート

子ども会用 No.1

子ども会名（ふりがな） おたるしちいきこどもかいいくせいれんらくきょうぎかい 小樽市地域子供会育成連絡協議会	連絡先 〒047-0034 小樽市緑1丁目9番4号 小樽市勤労青少年ホーム内 TEL 0134-24-0920
会員数：幼児（ 16 ） 小学生（ 235 ） 中学生（ 38 ） 高校生（ 5 ） JL（ ）名 指導者（ 21 ）名 名 名 名 名 <u>合計 294 名</u> <u>合計 21 名</u>	
地域の状況： 小樽市は、現在人口114,000人(令和2年2月末)の人口です。北海道西海岸のほぼ中央、後志地方の東側に位置し、札幌市など4市町村に接しています。 市街地の一方が日本海に面し、他方を山々に囲まれた坂の多いまちです。その中央には天然の良港である小樽港があり、西側の勇壮な海岸は「ニセコ積丹小樽海岸国定公園」に指定されています。 気候は北海道にあつて寒暖の差が小さい海洋性であるため、住みやすく、春は桜と新緑、夏はゴルフやマリレジャー、秋は紅葉、冬はスキーと、四季を通じて豊かな自然を満喫できます。	
発足から現在までの主な沿革 昭和45年 小樽市子供連絡協議会として発足 昭和51年 小樽市地域子供会育成連絡協議会に名称変更	
子ども会での活動（年間行事計画） 6月 ジュニアリーダー養成研修 第1回研修会 子ども体験農園「苗植え」 7月 ジュニアリーダー養成研修 宿泊体験 小樽ライオンズクラブ少年の船 8月 小樽市・倶知安町子ども会交流会 小樽リーダーの会しらかば体験キャンプ 9月 後志子どもの集い 子ども体験農園「収穫祭」 1月 第34回小樽市子ども会「下の句カルタ大会」 2月 全道子ども会「下の句カルタ大会」	
活動プログラムは誰が作りますか…？ 1 子どもたち 2 子どもと大人の代表 3 大人の作ったプロに子どもの意見を聞く 4 大人だけ 5 その他（	

特色ある活動及びプログラム、自慢できること：（平成31年度 実施内容）

- ジュニアリーダー養成研修
 ～小樽市と共催にて、子ども会のグループや集団活動等で活躍でき、また、楽しい子どもかい活動にするための知識や技術の習得を目的として実施。
 （具其他的な内容）
 - ・子ども会のリーダーとしての役割や心構え、記録の取り方等の学習
 - ・宿泊研修等を通じて集団行動や危険予知トレーニングの学習
 - ・レクリエーションゲームやダンスの実施
 - ・名刺作り等を通じた仲間作り、話し合いの進め方の学習

- 子ども体験農園
 ～都市化が進み、子ども達が自然に触れ合う経験が少なくなっているため、市内子ども会の会員及びジュニアリーダー養成研修生が苗植えや収穫祭を通じて、環境教育の学習や親子や地域住民との交流の場とする。

- 小樽ライオンズ少年の船
 ～小樽の産業遺産であるフェリーを利用して、地元子ども会との交流や郷土文化の学習、集団行動での活動等を目的として、新潟県新潟市・津南町にて4泊5日の宿泊研修を実施。
 （具体的な内容）
 - ・津南町子ども会との交流会の実施、レクリエーションゲームやダンスの実施
 - ・十日町博物館の見学や竪穴式住居への宿泊による歴史・郷土体験学習
 - ・船内でのビンゴゲーム大会等の参加

- 小樽市・倶知安町子ども会交流会
 ～毎年、小樽市と倶知安町の子ども会で交互に交流会を実施しており、今年度は小樽市において水族館見学を実施。

- 小樽市リーダーの会しらかば体験キャンプ
 ～ジュニアリーダー（小学5・6年生）をサポートする中学生・高校生のボランティア団体が体験キャンプを実施

- 小樽市子ども会「下の句カルタ大会」
 ～（一社）北海道子ども会育成連合会主催の「全道子どもかるた大会」への出場機会をかけて、本市での予選会を実施。
 なお、本市から小学生の部、中学生の部に各1チーム出場したが、1回戦敗退であった。

子ども会活動における問題点：

- ・参加者人数の減少
- ・指導者の不足

子ども会活動における今後の展望：

- ・育成者の指導
- ・子ども会活動の積極的な情報発信

活動の写真



写真の説明：

事業名：小樽ライオンズクラブ少年の船